

令和2年度 第4回 江戸川区熟年しあわせ計画及び 介護保険事業計画検討委員会（書面にて開催）

令和3年1月28日から

議 事

- (1) 熟年しあわせ計画及び第7期介護保険事業計画の進捗状況について
- (2) 熟年しあわせ計画及び第8期介護保険事業計画（中間のまとめ）の
公表結果について
- (3) 熟年しあわせ計画及び第8期介護保険事業計画（案）について

（配付資料）

- 資料1 介護保険サービス等見込量の進捗管理シート（令和2年度）
- 資料2 江戸川区熟年しあわせ計画及び介護保険事業計画（中間のまとめ）の公表結果
及び事業計画に関する意見への回答について
- 資料3 「中間のまとめ」から「事業計画（案）」への主な変更点
- 別冊 江戸川区熟年しあわせ計画及び第8期介護保険事業計画（案）

介護保険サービス等見込量の進捗管理シート（令和2年度）

1. 月あたりの供給量見込みの比較

<計画値：令和2年度の月あたりの供給量見込み、実績値：令和2年4月から11月審査分までの月平均>

サービス名		計画値	実績値	達成率	差異について考えられる要因
居宅サービス	①訪問介護	5,905人	5,183人	87.8%	概ね、計画値どおりの実績値となっている。
		150,397回	129,469回	86.1%	
	②訪問入浴介護	564人	602人	106.7%	利用人数は概ね計画値どおりだが、利用回数については新型コロナウイルス感染症の影響が可能性として考えられる。
		2,334回	3,077回	131.8%	
	③訪問看護	2,677人	2,915人	108.9%	利用人数は概ね計画値どおりだが、利用回数については新型コロナウイルス感染症の影響が可能性として考えられる。
		26,521回	33,980回	128.1%	
	④訪問リハビリテーション	201人	156人	77.6%	新型コロナウイルス感染症の影響が可能性として考えられる。
		2,941回	1,881回	64.0%	
	⑤居宅療養管理指導	6,228人	6,233人	100.1%	概ね、計画値どおりの実績値となっている。
	⑥通所介護 (デイサービス)	4,489人	4,813人	107.2%	7期計画期間中、通所介護については横ばい基調、地域密着型通所介護については増加基調とし計画値を設定しているが、実績では通所介護は増加し、地域密着型通所介護では想定に反し減少している。新型コロナウイルス感染症が影響した可能性も一部でみられたものの、計画値、実績値について両サービスを合算して比較すると、人数は約90%、回数は約100%と概ね計画値どおりとなっている。
		41,467回	48,675回	117.4%	
	⑦通所リハビリテーション	1,273人	958人	75.3%	新型コロナウイルス感染症の影響が可能性として考えられる。
		8,210回	5,965回	72.7%	
	⑧短期入所生活介護	1,243人	807人	64.9%	新型コロナウイルス感染症の影響が可能性として考えられる。
		10,090日	7,413日	73.5%	
⑨短期入所療養介護	126人	61人	48.4%	新型コロナウイルス感染症の影響が可能性として考えられる。	
	1,218日	607日	49.8%		
⑩福祉用具貸与	10,054人	9,783人	97.3%	概ね、計画値どおりの実績値となっている。	
⑪特定福祉用具購入費	232件	184件	79.3%	新型コロナウイルス感染症の影響が可能性として考えられる。	
⑫住宅改修費	191件	125件	65.4%	新型コロナウイルス感染症の影響が可能性として考えられる。	
⑬居宅介護支援・介護予防支援	14,271人	13,607人	95.3%	概ね、計画値どおりの実績値となっている。	
居住系サービス	①特定施設入居者生活介護	1,606人	1,769人	110.1%	概ね、計画値どおりの実績値となっている。
施設サービス	①介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	1,982人	1,705人	86.0%	概ね、計画値どおりの実績値となっている。
	②介護老人保健施設	1,154人	1,003人	86.9%	概ね、計画値どおりの実績値となっている。
	③介護医療院 ・介護療養型医療施設	139人	103人	74.1%	区内の介護医療院は2事業所で定員126人となっており、定員数と実績値から概ね不足は無いと考えられる。 また、区内の介護療養型医療施設は介護医療院への転換が完了した。

資料 1

サービス名		計画値	実績値	達成率	差異について考えられる要因
地域密着型サービス	①定期巡回・随時対応型訪問介護看護	70人	46人	65.7%	令和元年度末に1事業所が廃止し、実績値が減少したが、令和2年度中に新たに1事業所が開設予定。しかし公募に対する事業者からの応募が少なく、想定した整備数には及んでいない。
	②夜間対応型訪問介護	126人	52人	41.3%	令和2年度中に1事業所が廃止し、1事業所が開設したが、実績値は減少。また、公募に対する事業者からの応募が少なく、想定した整備数には及んでいない。
	③地域密着型通所介護 (定員18人以下のデイサービス)	3,048人	1,912人	62.7%	7期計画期間中、通所介護については横ばい基調、地域密着型通所介護については増加基調とし計画値を設定しているが、実績では通所介護は増加し、地域密着型通所介護では想定に反し減少している。新型コロナウイルス感染症が影響した可能性も一部でみられたものの、計画値、実績値について両サービスを合算して比較すると、人数は約90%、回数は約100%と概ね計画値どおりとなっている。
		23,809回	17,364回	72.9%	
	④認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	863人	674人	78.1%	入居率は100%に近く、依然として需要は高いと考えられる。令和3年度に1事業所開設予定であるが、想定した整備数には及んでいない。
	⑤小規模多機能型居宅介護	502人	269人	53.6%	整備数は13事業所で登録定員357人だが、登録実績が269人となっている。潜在的な需要はあるが、他のサービスに比べ区民への認知度が低いなど、利用者が集まりにくい状況があると考えられる。令和3年度に1事業所開設予定であるが、想定した整備数には及んでいない。
	⑥認知症対応型通所介護	352人	252人	71.6%	利用人数については新型コロナウイルス感染症の影響も可能性として考えられるが、利用回数の実績から、概ね、計画値どおりの実績値となっている。
		2,816回	2,710回	96.2%	
	⑦地域密着型特定施設入居者生活介護 (小規模介護専用型有料老人ホーム等)	18人	17人	94.4%	概ね、計画値どおりの実績値となっている。
⑧地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (小規模特別養護老人ホーム)	49人	48人	98.0%	概ね、計画値どおりの実績値となっている。	
⑨看護小規模多機能型居宅介護	85人	19人	22.4%	区内では1事業所のみであったが、運営費補助の対象としたところ、公募により1事業所を選定することができた(令和4年度中に開設予定)。しかし公募に対する事業者からの応募が少なく、想定した整備数には及んでいない。	

サービス名		計画値	実績値	達成率	差異について考えられる要因
介護予防・生活支援サービス	①訪問型サービス	2,109人	1,527人	72.4%	新型コロナウイルス感染症の影響が可能性として考えられる。
	②通所型サービス	3,175人	2,641人	83.2%	概ね、計画値どおりの実績値となっている。

2. サービス提供体制に関する現状と課題

○サービスによっては、利用量に減少がみられたが、新型コロナウイルス感染症の影響が可能性として考えられる。安定した介護サービスが供給できるように介護事業所が事業継続できる体制を確保することが必要である。

○地域密着型サービスの公募については、近年応募が少ない状況が続いている。このため、令和2年度には区独自の運営費補助の対象に看護小規模多機能型居宅介護を加え、小規模多機能型居宅介護の募集圏域を区全体に広げるなど公募の方法等を変更したところ、開設相談が増加し、看護小規模多機能型居宅介護については1事業者が選定に至るなど、一定の効果がみられた。小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護については、サービスの連続性、総合性を備えており、住み慣れた地域での生活を継続するために必要なサービスと位置づけている。区では、日常生活圏域ごとに整備することを目標に公募を行っており、空白圏域への整備を促進するため、引き続き、開設後1年に限り区独自の運営費補助を行っていく。

「江戸川区熟年しあわせ計画及び介護保険事業計画」（中間のまとめ）の公表結果及び事業計画に関する意見への回答について

◇意見募集について

- 1 意見募集期間
令和2年12月1日（火）～12月15日（火）
- 2 意見提出人数と件数
意見提出人数：検討委員 8人
区 民 2人
意見総数：30件
- 3 主な意見と区の考え方

No.	ご意見内容	区の考え方	反映箇所
			ページ
1. 計画全体に関すること			
1	第8期の計画については、次期（R4年度策定予定）の江戸川区地域福祉計画と整合性をとることとなっている。1年のずれがあるが、どのように考えるのか。	熟年しあわせ計画及び介護保険事業計画と地域福祉計画の両者は、互いに整合性をとるものです。したがって、今回策定する事業計画の趣旨や考え方は、それ以降に策定される予定の第3期地域福祉計画にも引き継がれます。	4
2	コロナに対しての施策が入っていないように思う。	第2部第1章「区の現状と推計」に、新型コロナウイルス感染症への取組や課題を記載したページを追加しました。	25
2. 江戸川区が目指す地域共生社会について			
3	なごみの家の説明図について、どのような機関や関係者と、どのような問題について支援や解決をしているかという点が明らかになるとよいと思う。	第3部第1章において、なごみの家と各関係機関とのつながりや、どのような問題を支援し解決しているのかが分かるよう、修正しました。	42
4	今後の方向性では主に支援について記載されているが、情報を得る手段を持たなかったり、情報収集がしづらい熟年者をどのように地域社会に呼び込むかの記載が必要である。施策や地域の情報を得る機会が少ないことを実感している。	なごみの家を中心となり、地域のボランティアや民生委員、町会・自治会などと連携し、情報収集のしづらい熟年者に対し、その人にあった地域活動や趣味活動などの提案をしていきます。	43

3. 地域共生社会の推進に向けた区の具体的な取組			
5	自分らしくが一つの重要なキーワードであり、ステレオタイプの参加や役割に当てはまらなかった人の参加を促すことが課題であり方向性であるならば、多様な就労だけでなく、「様々な形での就労」、「地域活動」、「趣味活動」などの場において、多様な役割のなかから、個々人が「生きがい」を見つけるなど、参加と役割、そこから生み出される生きがいも多様であってよい。大きなキーワードである「自分らしく」であることを伝える表現にした方がよい。	ご意見を踏まえ、文章を修正しました。	45
6	くすのきクラブなどの集いの場における、新しい生活様式に対応した例はないのか。	自宅でできる体操、脳トレ動画など区ホームページなどで配信をしていますが、今後もコロナ禍において、新しい生活様式に対応した取組を推進していきます。	46
7	「心安心と信頼のサービスづくり」の重点施策に、介護保険を住民の方が理解するための出前講座などの「わかりやすい介護保険」の記載があってはどうか。	制度の周知は重要な課題と捉えていますが、ここでは、高齢化が進む中いかに介護基盤を強化していくかを論じているため、ご意見をいただいた制度の周知については、情報提供の多様化も含め、第4部第1章に記載しました。	47(92)
8	第7期の計画書に記載されていたように、医療と介護の連携について具体的な内容（「医療と介護の連携強化」「ケアマネジャー研修、区民向け講習会への取組」等）が記載されていると分かりやすいと思う。	第8期計画では、区の具体的な取組の構成を刷新し医療と介護の連携については、「V生活を支える体制づくり」に位置付けましたが、ご意見を踏まえ、重点施策の取組がより分かりやすくなるよう修正しました。	50(149)
4. 熟年しあわせ計画 生きがいに満ちた地域づくりについて			
9	ボランティアセンターの登録団体だけでなく、NPO、町会・自治会、CSRについて記載できないか。	ご意見を踏まえ、町会・自治会やNPO、企業による社会貢献活動などについても追記しました。	54
10	ボランティアセンターやボランティアについての情報が少なく感じる。「ボランティア立区」という言葉は区民に浸透しているのか。	本区は、平成14年から「ボランティア立区」というスローガンを掲げ、区内のボランティア活動の推進を図ってきました。今後、さらにボランティアの輪を広げ、「ボランティア立区」という言葉がより浸透するよう取り組んでいきます。	54
11	熟年者の社会参加促進のための支援の1つとして、江戸川総合人生大学について触れられないか。	ご意見を踏まえ、第4部中に江戸川総合人生大学について追記しました。	59

5. 熟年しあわせ計画 生涯現役の健康づくり			
12	コロナ禍において、ひとりケアマネもしくは事業所に対して、協力派遣対策の確立について記載を希望する。	ケアマネジャー協会の取組について、感染症予防対策の充実の一例として追記しました。	67
6. 熟年しあわせ計画 みんなにやさしいまちづくり			
13	買い物、通院、役所手続きに対して区内をコミュニティバスにより移動できる等、移送サービスの充実を記載してはどうか。	移送サービスの重要性は認識しており、区民生活の利便性を高めるため、生活に密着したコミュニティ交通について、導入の可能性を検討しています。	84
14	施設入所への補助制度についての記載を希望する。	令和2年度から新たに実施している、介護付有料老人ホームの空床を活用した特別養護老人ホーム待機者への支援に関する項目を追加しました。	89
7. 熟年しあわせ計画 生活を支える体制づくり			
15	老老介護、育児介護Wケア者へ対してのアドバイザーの派遣についての記載を希望する。	老老介護や育児介護Wケア者など複雑な問題をもつ方に対しては、第4部第1章にあるとおり、熟年相談室や24時間電話相談により相談の敷居を下げて介護サービスにつなげ、ケアマネジャーのアセスメントを通じて個々の状況に合わせた支援につなげています。 さまざまな課題に対するアセスメント力の強化のため、研修等の実施や関係部署間での情報共有、連携を図ることにも取り組んでいます。 また、なごみの家でも相談員のアウトリーチによる支援体制を充実するなど、今後も適切な支援が受けられる体制の整備を推進していきます。	93
16	入院時サポート事業、おひとりさま支援事業といった新規事業については、ますます必要となるため、事業を拡充できるよう関係者による協議を重ね、要件の緩和や予算の拡充など、必要な区民が利用できるよう取組の継続を要望する。	令和3年度から、おひとりさま支援事業と入院時サポート事業について一部要件を見直す方向で検討しており、その旨を第4部第1章「権利擁護の推進」に追記しました。	97
17	医療と介護の連携強化を図る上で、第8期の計画では会議の開催回数が減っているが、何か理由はあるのか。	平成30年度より会議を実施してきた中で、研修内容や講師選定に関する検討、多職種間での情報共有に関する意見交換等、検討すべき課題や内容が明確化され、より効率的に議論することが可能となったため回数減としました。	100

8. 介護保険事業計画			
18	「介護予防・短期入所療養介護」「介護予防認知症対応型通所介護」の計画値について、利用人数は1人なのに利用回数は0回となっている。どのように考えればよいのか。	小数点以下は切り捨てていたため、1に満たない数値は0と表記していましたが、ご意見を踏まえ修正しました。	107,123
9. 保険料について			
19	介護給付費準備基金を活用し、保険料の上昇に充当されると大変ありがたい。新型コロナウイルス感染症の流行により、区民の家計が逼迫している所、基準額月6600円の出費は負担が大きいと思われる。安定した財政運営の継続の下基準額の再考をお願いしたい。	介護報酬の改定等を踏まえ、サービス見込量等を精査するとともに、適正な負担水準等を考慮し、介護給付費準備基金を投入することにより、基準額を月5,900円としました。	140
10. 介護保険事業を円滑に推進するための施策			
20	「中堅職員などの育成」とあるが、従来の初任者等の対策が中心で、「中堅の対策」の記述が弱いように思う。中堅研修助成など記載してはどうか。	中堅職員に対しては、「介護・福祉人材緊急確保・定着奨励金事業」及び「介護人材採用力強化セミナー」を実施し、職員の定着支援と、中堅職員の育成につなげており、第4部第2章に記載しているところです。 このほか、東京都においても、中堅職員を対象とした研修助成等の事業が展開されています。	147
21	多職種の参加がしやすい様に、区からも所属施設や医療機関への働きかけをお願い致したい。実施された内容を区民にも公開するとさらに、連携の輪が広がると思う。	多職種及び医療介護連携研修を動画配信にて行うなど、各職種が参加しやすい環境づくりを行っています。	150
11. その他			
22	介護保険施設等利用時における新型コロナウイルス検査費用の助成について 病院から介護保険施設入所等を希望する高齢者に対して、クラスターを予防する観点から、入所時、サービス利用時のPCR検査費用の助成を要望します。	東京都による「高齢者における新型コロナウイルス感染症対策強化事業」において、新規入所者や医療機関からの退院者などへの検査費用に助成が行われております。	-

「中間のまとめ」から「事業計画（案）」への主な変更点

＜主な変更点＞

（ ）内は、事業計画（案）のページ

1 区の現状と課題（第2部）

- 日常生活圏域別の高齢化率に推計を追加（P. 17）
- 令和2年度のサービスの利用者数や第1号被保険者数の推計等を最新のデータに変更
- 新型コロナウイルス感染症について追加（P. 25）

2 地域共生社会の実現に向けて（第3部）

- なごみの家の取組から創出した活動について追加（P. 42）

3 熟年者保健福祉施策の展開（第4部 第1章）

- 以下の項目を追加
 - ・ボランティア活動の活性化に向けた取組の推進（P. 55）
 - ・文化・スポーツコンシェルジュによる活動情報の提供（P. 58）
 - ・江戸川総合人生大学での学びの推進（P. 59）
 - ・多様な健康運動・健康体操の推進（P. 71）
 - ・特別養護老人ホーム待機者への支援の実施（P. 89）
- 令和2年度の実績（見込み）と計画値について、最新の数字を更新

4 介護保険事業計画の記載内容（第4部 第2章）

- リハビリテーション提供体制の検討について追加（P. 110～112）
- 特別養護老人ホーム整備計画に、新規整備の考え方と条件等を追記（P. 116～117）
- 介護保険サービス等の見込み量を見直して記載
- 保険給付費等及び保険料の見込み額を見直して記載（P140）
保険料基準月額 5,900円
- 第1号被保険者の所得段階別保険料を見直して記載（P. 140～141）